

評価方法及び実務経験のある教員等による授業科目一覧

分野	領域	授 業 科 目	単 位	時 間	担 当 時 間	試 験 時 間	学 年	評価方法			実務経験のある教員		指定規則			
								筆 記	レポ ー ト	実 技	職 種 等	単 位 数				
基礎分野	人間の理解	心理学	1	30	28	2	1	○					科学的思考の基盤 人間と生活、社会の理解			
		教育学	1	30	28	2	2	○								
		論理学	1	30	28	2	2	○	○							
		哲学	1	30	28	2	3	○								
	人間と健康	心の健康	1	15	14	1	1	○								
		運動と健康	1	15	14	1	3	○		○						
	人間と生活	社会学	1	30	28	2	2	○								
		家族論	1	15	14	1	1	○			看護師	1				
		文化人類学	1	15	14	1	3	○								
		物理学	1	15	14	1	1	○								
		情報科学	1	30	28	2	1	○								
		コミュニケーション論	1	15	14	1	1	○								
		英会話	1	30	28	2	3	○								
		パフォーマンス論	1	15	14	1	1	○								
専門基礎分野	人間の理解	形態機能学Ⅰ	身体の構造と機能の基礎	1	30	26	2	1	○			専任教員		人体の構造と機能		
				24	2	1	○									
		形態機能学Ⅱ	脳神経系・内分泌系の構造と機能 生体防御機構	1	30	4	2	1	○							
				16	2	1	○			専任教員						
		形態機能学Ⅲ	息をする・話す聞く見る・お風呂に入る・眠る 動く	1	30	12	2	1	○							
				28	2	1	○			専任教員	1					
		形態機能学Ⅳ	食べる・トイレに行く・性のしくみ	1	30	28	2	1	○			専任教員	1			
	形態機能学Ⅴ	日常生活行動と生理的機能 解剖見学	1	30	4		1		○			専任教員	1			
			26		1											
	生化学		1	30	28	2	1	○								
	人間と健康	疾病の発生と病理的变化		1	30	28	2	1	○			医師	1		疾病の成り立ちと回復の促進	
				28	2	1	○									
		疾病と治療Ⅰ	疾病の診断過程と検査、回復を促進する治療	1	30	4	2	1	○				医師			1
				6	医師											
8				医師												
6				医師												
4				医師												
疾病と治療Ⅱ		呼吸器 循環器(疾患・治療) 循環器(検査・治療) 腎泌尿器	1	30	10	2	1	○				医師	1			
			6	医師												
			4	医師												
			8	医師												
疾病と治療Ⅲ		運動器 内分泌代謝 血液リンパ	1	30	12	2	1	○				医師	1			
			8	医師												
			8	医師												

分野	領域	授 業 科 目		単 位	時 間	担 当 時 間	試 験 時 間	学 年	評 価 方 法			実 務 経 験 の あ る 教 員		指 定 規 則		
									筆 記	レ ポ ー ト	実 技	職 種 等	単 位 数			
専門基礎分野	人間と健康	疾病と治療Ⅳ	脳神経(外科系)	1	30	8	2	1	○				医師	1	疾病の成り立ちと回復の促進	
			消化器(外科系)			6							医師			
			消化器(内科系)			6							医師			
			神経内科			8							医師			
		疾病と治療Ⅴ	自己免疫	1	30	8	2	2	○					医師		1
			精神特有の疾病			14								医師		
			小児特有の疾病			6								医師		
		疾病と治療Ⅵ	感覚器(眼)	1	30	4	2	2	○					医師		1
			感覚器(耳鼻)			4								医師		
			皮膚			2								医師		
			感覚器(口腔)			2								医師		
			女性生殖器・乳房			6								医師		
			周産期の異常時の疾病と治療			10								助産師		
		薬理学	1	30	28	2	1	○					薬剤師	1		
食事療法とリハビリテーション	栄養学	1	30	14	2	2	○					栄養士	1			
	リハビリテーション			8								医師				
				2								理学療法士				
				2								作業療法士				
				2								言語聴覚士				
これからの医療	医療の動向	1	15	8	1	3	○					医師 看護師	1			
	医療の発展			2												
公衆衛生	1	15	14	1	2	○										
人間と生活	社会保障と社会福祉		1	30	28	2	3	○								
	医療と倫理		1	15	14	1	2	○								
	医療と法律		1	15	14	1	3	○								
	医療と経済	診療と経済	1	15	8	1	3	○					医師 看護師	1		
経営と看護管理		6			看護師											
専門分野	基礎看護学	看護学概論		1	30	28	2	1	○	○			専任教員	1	基礎看護学	
		看護理論		1	15	14	1	2	○	○				専任教員		1
		ヘルスアセスメント論		1	30	28	2	1	○		○			専任教員		1
		生活援助論Ⅰ		1	30	28	2	1	○					専任教員		1
		生活援助論Ⅱ		1	30	28	2	1	○					専任教員		1
		生活援助論Ⅲ		1	30	28	2	1	○					専任教員		1
		人間関係成立の技術		1	30	28	2	1	○					専任教員		1
		看護倫理		1	15	10	1	1	○	○				専任教員		1
			医療従事者としての業務と責任			4								看護師		
		診療の補助技術		1	30	28	2	2	○					専任教員		1
		クオリティ看護論Ⅰ		1	30	28	2	1	○	○				専任教員		1
		クオリティ看護論Ⅱ		1	30	28	2	1	○					専任教員		1
		クオリティ看護論Ⅲ		1	30	28	2	3	○	○				専任教員		1

分野	領域	授業科目	単位	時間	担当時間	試験時間	学年	評価方法			実務経験のある教員		指定規則
								筆記	レポート	実技	職種等	単位数	
専門分野	地域・在宅看護論	地域・在宅で暮らす人々の理解	1	15	14	1	1	○	○		専任教員	1	地域・在宅看護論
		地域・在宅看護概論	1	15	14	1	1	○			専任教員	1	
		地域・在宅でのその人らしい暮らしを支える看護	1	30	12	2	2	○			専任教員	1	
		難病療養者・終末期			10						看護師		
		重症心身障害児			4						看護師		
		難病療養者と家族			2								
		在宅看護技術	1	30	28	2	2	○			専任教員	1	
	ケアマネジメント	1	15	14	1	2	○	○		専任教員	1		
	在宅看護の展開	1	15	14	1	2	○	○		専任教員	1		
	成人看護学	成人看護学概論	1	30	28	2	1	○			専任教員	1	成人看護学
		生命の危機状況にある人の生きているを支える看護	1	30	18	2	2	○			専任教員	1	
		生命の危機・救命・集中治療			10						看護師		
		手術を受ける人の生きていくを支える看護	1	30	26	2	2	○			専任教員	1	
		手術室看護			2						看護師		
		病とともに暮らすを支える看護	1	30	22	2	2	○	○		専任教員	1	
		腎機能障害			6						看護師		
		生活機能障害のある人の暮らすを支える看護	1	30	12	2	2	○			専任教員	1	
		脳・神経障害			6						看護師		
		排尿・排泄機能障害			6						看護師		
	脊髄損傷	4			専任教員								
	その人らしく生きるを支える看護	1	30	16	2	2	○			専任教員	1		
	緩和ケア			12						看護師			
	老年看護学	老年看護学概論	1	30	28	2	1	○			専任教員	1	老年看護学
		高齢者の生活機能を整える看護	1	30	28	2	1	○			専任教員	1	
		高齢者の生きるを支える看護	1	30	22	2	2	○			専任教員	1	
		高齢者の健康障害			2						医師		
		褥瘡			2						看護師		
		エンド・オブ・ライフケア			2						看護師		
	認知機能が低下した高齢者の暮らすを支える看護	1	15	12	1	2	○	○		専任教員	1		
	認知症の病態と要因			2						医師			
小児看護学	子どもの成長発達と看護	1	30	28	2	1	○	○		専任教員	1	小児看護学	
	子どものヘルスプロモーションを支える看護	1	30	28	2	2	○			専任教員	1		
	子どもの健康状態に応じた看護	1	30	28	2	2	○			専任教員	1		
	子どもの成長発達を支える看護	1	15	14	1	2	○	○		専任教員	1		
母性看護学	母性看護学概論	1	30	28	2	1	○			専任教員	1	母性看護学	
	妊婦・産婦の生命の育みを支える看護	1	30	18	2	2	○			専任教員	1		
	産婦の看護			8						助産師			
	マタニティヨガ			2						助産師			
	褥婦・新生児の生命の育みを支える看護	1	30	22	2	2	○			専任教員	1		
	新生児			6						助産師			
生命の育みを支える看護の展開	1	15	14	1	2	○	○		専任教員	1			

分野	領域	授業科目	単位	時間	担当時間	試験時間	学年	評価方法			実務経験のある教員		指定規則	
								筆記	レポート	実技	職種等	単位数		
専門分野	精神看護学	精神看護学概論	1	30	28	2	1	○			専任教員	1	精神看護学	
		精神に障害がある人を支える看護の基本	1	30	18	2	2	○			専任教員	1		
					安全を守る看護						4			看護師
					緊急事態に対する看護						4			看護師
					当事者の理解						2			
		精神の障害とともに生きるを支える看護	1	30	26	2	2	○	○		専任教員	1		
					小児精神看護						2			看護師
		精神の障害とともに地域で暮らすを支える看護	1	15	12	1	2	○			専任教員	1		
					地域で暮らす支援						2			精神保健福祉士
		看護の統合と実践	看護マネジメントとキャリア論Ⅰ	1	15	8	1	1		○		専任教員		1
	看護職の専門性					6						看護師		
	看護マネジメントとキャリア論Ⅱ		1	15	2	1	3	○			専任教員	1		
					看護管理						12		看護師	
	医療安全と看護Ⅰ		1	15	14	1	1	○			専任教員	1		
	医療安全と看護Ⅱ		1	15	14	1	2	○			専任教員	1		
	災害看護・国際看護		1	30	4	2	3	○			医師	1		
					災害時の看護活動と応急処置						12		看護師	
					国際看護						12		看護師	
	臨床看護の実践		1	30	28	2	3	○			専任教員	1		
	地域特性と看護	1	15	11		2		○		専任教員	1			
様々な場における看護				4										
専門分野	臨地実習	看護の基礎実習Ⅰ	1	30	30		1				専任教員	1	臨地実習	
		看護の基礎実習Ⅱ	3	90	90		1				専任教員	3		
		その人らしさを考える看護実習	2	90	90		2				専任教員	2		
		地域での暮らしを支える看護実習	2	90	90		2・3				専任教員	2		
		その人らしさを支える看護実習Ⅰ	2	90	90		2・3				専任教員	2		
		その人らしさを支える看護実習Ⅱ	2	90	90		2・3				専任教員	2		
		その人らしさを支える看護実習Ⅲ	2	90	90		2・3				専任教員	2		
		その人らしさを支える看護実習Ⅳ	2	90	90		2・3				専任教員	2		
		成長発達を支える看護実習	2	90	90		2・3				専任教員	2		
		いのちの育みを支える看護実習	2	90	90		2・3				専任教員	2		
看護の統合実習	3	90	90		3				専任教員	3				
総単位数・時間数 106単位 3,015時間											83	実務経験のある教員等による授業の総単位数・時間数 計83単位		

※実習は各科目の実習評価表に基づき評価する。

※専任教員とは

看護六法 第4 1

(3) 看護師養成所の専任教員となることのできる者は、次のいずれにも該当する者であること。ただし、保健師、助産師又は看護師として指定規則別表3の専門分野の教育内容(以下「専門領域」という。)のうちの一つの業務に3年以上従事した者で、大学において教育に関する科目を履修して卒業したもの又は大学院において教育に関する科目を履修したものは、これにかかわらず専任教員となることのできる。

ア 保健師、助産師又は看護師として5年以上業務に従事した者

イ 専任教員として必要な研修を修了した者又は看護師の教育に関し、これと同等以上の学識経験を有すると認められる者